



津幡南中だより

津幡町立津幡南中学校

校長 田中 宏志 TEL 288-742

令和6年11月7日(木) NO.8

校訓

☆燃えるような情熱

☆ひたむきな純粋さ

☆たゆみない向上心



「 結果とプロセス 」 校長 田中 宏志

10月は行事の多い月でした。一番大きな行事は、「Stay gold ~広がれ!!南中スマイル!!~」をテーマに行われた学校祭です。

初日は合唱コンクール、美術部と吹奏楽部がコラボレーションし、能登半島地震復興をテーマにした書道パフォーマンスが行われました。2日目は執行部のオープニングでのテーマ劇、吹奏楽部の演奏、弁論大会、各学年の発表、有志によるステージ発表など様々な取組が行われました。この日に向けて、みなさんは仲間と協力しながら準備を進めてきました。時には悶々とした気持ちになりながらも、より良きものを創ろうと、校舎に響く歌声で合唱練習にのぞんだり、各学年の取り組みに一生懸命に汗を流したり姿を校長先生は見ることができました。その姿を見て、改めて、行事で学ぶことの大切さを感じることができました。



さて、学校という場に限らず、何かに取り組むときには、結果（成果）が求められます。しかし、校長先生は、結果と同じくらいプロセスが大切だと思っています。結果は確かに人に自信を付け、歓喜をもたらしてくれます。その一方で、結果は人を惑わしたり陥れたりもします。このことについて、元野球選手の 鈴木 一朗（イチロー）氏が日本経済新聞の紙上で次のようにコメントしています。

結果とプロセスは優劣つけられるものではない。結果が大事というのはこの世界でこれをなくしてはいけない、野球を続けるのに必要だから。プロセスが必要なのは野球選手としてではなく、人間を作る上で必要と思う。

負けには理由がありますからね。たまたま勝つことはあっても、たまたま負けることはない。

本当の力が備わっていないと思われる状況で何かを成し遂げたときの気持ちと、しっかり力を蓄えて結果を出したときの気持ちは違う。

鈴木 一朗氏のこれらのコメントには、共感できるものが多くあります。プロセスが準備不足であったり、多少甘かったりしたときでも、何かしらの結果が出てしまうことがあります。校長先生は、みなさんが何かに取り組むときには、そのプロセスの中で、みなさんがどのような力を付けていくのかも大切にしています。

津幡南中学校のみなさんは、文化祭当日までの取組の中で、プロセスの段階できっと何かをつかみ、当日の結果から大きな達成感を感じ、次につながる何かを得てくれたと思っています。そこで得たものを大切にし、次へのステップに進んでいって欲しいと、校長先生は願っています。

今月7日（木）は立冬。ますます寒い日が増えてきます。風邪やインフルエンザに気を付け、コロナ対策にも気を抜かず、健康管理に十分注意しなければいけない時期です。また、交通事故の多い時期となります。時間に余裕をもち、上下校中のマナーにも気を配り、安全にも努めましょう。心身共に充実した実りの多い11月となるよう願っています。

保護者の皆様には、今後とも本校の学校運営にご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、お子様の健康や学習面などで気になることや相談したいことがございましたら、遠慮なく学校へご連絡ください。

★生徒指導より 生徒の皆さんへ★

11月の生活目標

1学期のTPOを越える

TPOを意識した生活をしよう

<時 場所 場面
T・P・O>



♡ 「気ばたらき」 という言葉を知っていますか？

「気ばたらき」とは、その場に応じて、よく気が利くこと。機転。という意味があります。

生活目標の「TPO」とも関係があるように思います。なぜなら、T（時間）P（場所）O（場面）に応じた行動ができるようになるには、「この時間は何を注意したらよいだろう」「この場所ではこんな行動がふさわしいな」「こんな場面ではこうした方が良いよな」など「気を配ること」や「機転を利かせて」自分の行動を切り替えたりする力が必要だからです。

大きな行事（運動会・合唱コンクール・学校祭）を経験して、「気ばたらき」を意識できた時はありませんでしたか？合唱の練習で、各学年の総合の時間で、合唱本番のステージで、学校祭のステージで、他にも様々な場面で「気ばたらき」を働かせて行動していた場面があると思います。

それを11月の生活目標に関連付けて、11月の学校生活を送っていきましょう。

ちなみに「気ばたらき」は、和倉温泉の「加賀屋」でも接客の考え方の一つとして取り入れられているそうです。

寒くなる時期です。 T（時を守る） 11月の行動の一つとして、



①**8時00分のカリオンに間に合う**ように、朝の準備をして、自宅を出発しよう！

⇒起床時間が遅くならないよう、自分のルーティーンを決めて生活しよう。

②**完全下校時間が18時00分**になります。17時45分に下校を促すチャイムが鳴ります。

⇒下校時は、真っ暗です。事故等に気をつけて自宅まで帰りましょう。寄り道禁止です。

★学習指導より★

△11月の学習目標△

積極的に挙手・発言し、授業をもりあげよう！

話す 自分の意見を進んで発表しよう **聞く** 話す人の方を向いて聽こう

1. 主体的に授業に参加することが学力向上につながる！

11月は、学級の仲間みんなで「授業の活性化」に努めましょう。一人ひとりが主体的に授業に参加することで、授業内容が記憶に残って覚えられたり、理解が深まったりします。主体的に授業に参加するということは、自分で考えて取り組むことにつながり、効率的な学習が可能となります。期末テストに向けて、積極的に授業に参加していきましょう。

主体的に授業に参加しよう！

「言われたことをする」だけではなく、
自分で考えて取り組む！
意識的に聞き、積極的に発言する
→どこが自分と同じ・似ている・違う考え方か？自分ならどう答える?
どこまで理解したかを自分で問いかけて確かめる
例) 公式は覚えた? →演習で公式は使える? →応用問題は解ける?

2. 期末テストに向けて、学習計画をつくろう！

テストに向けて学習計画を立てる上で大切なのは、お手本のようない「理想の計画」ではなく、自身が実行することのできる「確実な計画」にすることです。いつまでに【時間】何を【質】どれだけ【量】行うかを自分の力量に合わせて計画する必要があります。

ただやみくもにハードワークをこなすのではなく、自分が着実に実行できる計画を立ててテスト勉強に取り組みましょう。

期末テストに向けて

いつまでに 時間
一生懸命頑張れば実行できそうな
×「理想の計画」
無理なく実行できる
○「確実な計画」

何を 質

どれだけ 量

自分に合った学習計画を作成しよう！